

## 令和3年度 第1回総合教育会議録

日 時 令和3年4月12日（月）午後2時45分から午後3時40分まで  
場 所 本庁舎3階 第1・第2・第3委員会室  
出席者 小林市長、宇野教育長、野尻正人教育長職務代理者、藤本政一教育委員、  
白須康子教育委員、鈴木育夫教育委員、山崎亜由子教育委員  
天野総務部長、井上企画財政課長、杉本企画財政課企画担当リーダー、  
企画担当鈴木、  
安藤教育次長、坂本社会教育課長、  
杉本学校教育課学校づくり担当リーダー  
  
傍聴者 新型コロナウイルス対策のため傍聴人なし

### 市長挨拶

本日、大月市総合教育会議の開催にあたり、教育委員の皆様には日頃から、本市教育行政の推進に御尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルスの流行により教育現場は未だかつてないほどの混乱したのではないかと思います。

休校措置や各種行事の中止、縮小、子供たちにはいつもと違う我慢の年になってしまったのではと大変心配しているところであります。

さて、本市における独自の取り組みとしましては「家事労働」を取り入れた生活づくりと「家庭学習」に取り組む「チャレンジ大月っ子」や基礎学力の定着と学力向上のため、教員OBの皆様に協力いただきながら年間通して実施している「大月っ子楽習サロン」などを実施しております。

夏休み中に実施する「大月サマースクール」については、昨年度は中止となってしまいました。代替事業として、小学校学習サポート事業を実施し、臨時休校後の小学校の算数や国語を中心とした授業における、児童の学習のつまずきや遅れをなくすため、教員が行う授業に教員OB指導者が入り、学習内容の理解を補うよう授業を支援しました。

そして教育環境の整備として、鳥沢小学校プールの建設や情報教育の充実のためパソコンの共用から一人が一台利用できる環境を整備しました。併せて、校内（校舎・体育館）のどこでもインターネットにつながる環境を整備しました。

さらに、電子黒板等の大型提示装置を全普通教室に設置することで「情報活用能力」を育てると共に、ふるさと大月で豊かに学び、そして夢と希望を持ち、世界に羽ばたく人材の育成に、努めて参ります。

ソフト面では、教育支援室や不登校児童生徒の居場所づくりのために、旧強瀬小学校の別棟に「教育支援センター」を開設し、保護者や各学校、関係機関と連携するとともに市民が協力して不登校の子どもたちの支援を進めているところです。

そんな状況ではありますが、本年度も、皆様のお力をお借りして、市内の児童・生徒がより良い教育環境で勉学に励めるよう努めるとともに、教職員、保護者、地域の皆様とともに、特色あるふるさと教育の推進に努めて参りたいと考えております。

本日の議題は、「令和3年度学校教育の指針」についての1件であります。活発なご意見をいただき、ご審議のほどお願いしまして、あいさつとさせていただきます。

## 議 事

### (1) 令和3年度大月市学校教育の指針について

説明者 宇野教育長

#### 【内容】

「令和3年度 大月市学校教育の指針」について説明があった。

#### 【協議結果】

協議の結果、原案のとおり、承認された。